

「優しく丁寧に楽しく豊かに」

KEIKO MAX 代表 うえだ 上田 けいこ 圭子



T E L: 090-7103-7746



「こいつにこんなんさせといたらあかん」
父が母に向かって言った私への一言。
短大卒業後、地元企業で働いていましたが、実家である加古川駅前のハナフサ洋菓子店が加古川そごう開店に伴うリニューアルするのを機に帰ってきて実家を手伝う事になり、連日沢山のお客様が来られる店内を走り回っていました。
そこに父のこの一言。
店舗スタッフから洋菓子製造部門へ、との意味でした。
「体で覚えた事は一生忘れない」父がよく口にしていた言葉です。職人氣質の父にそう言われ、私がケーキ?と、もの凄くビックリしたのを思

い出します。その数日後には、当時女性が少ないかったケーキ職人の道へ。小さな頃からお菓子を作るのが好きだった私は、全てが新鮮で楽しくて無我夢中の日々でした。

30歳で結婚しケーキ職人である主人と地元で愛されるお菓子を作ろうと、雨の日も雪の降る日も休まず、連日連夜試作を重ねやつの想いで完成させた日岡山チーズケーキ、とろけるような食感にこだわったミルボンプリンなどを完成させました。

ある日、映画ハリポッターの大ファンのお客様から、デコレーションケーキに主人公を描いてほしいとのご依頼を頂き、そこから始まった似顔絵デコレーションケーキ。うまくできるのか不安もありましたが、小さな頃から絵は大好きで、家族の似顔絵を描いて兄が「似とう〜！」と嬉しそうに言ってくれた思い出も、一歩を踏み出す力となりました。

取材を受け新聞に大きく掲載されたことも、ただひたすらにケーキ作りに励んでいた私にとってとんでもなく大きなご褒美を貰ったんだと胸が熱くなりました。

似顔絵ケーキをご最頂にして下さっているお客様のお知り合いのお笑いたレントに送るため、その方の似顔絵ケーキをご注文いただいたこともありました。

ケーキに書くお写真の方は皆、とても素敵でキラキラしてて、いつもとても幸せな気分になります。ご注文し

て下さった方の想いを大切に“を心掛けて製作しています。

そんなケーキ作り一辺倒だった私が「パンが焼きたい」と思うようになり毎日夜中まで試行錯誤しながら試作を繰り返しました。ところが様々な事情でパンはお店には置けないとわかり、私のパンを皆様に届けたいという思いをどうしたらいいのか分からなくなっていました。

そんな時、財閥創始者ジョンモルガンの名言「何処かに辿り着きたいなら今いるところから旅立つことを決心しなければならぬ」という言葉が「お客様の為に、お店の為に」と、がむしゃらに働いてきた自分を納得させてくれました。

約30年間勤めてきたお店を退職、偶然にも最後の出勤日は創業者で和菓子職人だった祖父の誕生日。製造所から見上げた空には大きくて綺麗な彩雲があり、母と一緒に空を眺め、旅立ちを祝福してもらっているようでとても感動したのを覚えています。

今は「KEIKO MAX」という名前で店舗を持たず完全予約制でケーキやパンを焼いています。凄い名前！マツコ・デラックスみたいやんと、よく言われますが実は我が家のワンコ（マックス）の名前

今もこれからも私を育ててくれたお店や、ずっと応援してくださる方々に感謝し、ご縁を大切にして「優しく丁寧に楽しく豊かに」ケーキやパンを焼き続けていきたいです。